

# 2016年度（38期） 事業報告書

自：2016年4月 1日

至：2017年3月31日



**公益財団法人 関西盲導犬協会**

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

# 2016年度事業報告書

(2016年4月1日－2017年3月31日)

公益財団法人 関西盲導犬協会

## 1. 公益事業部門

### 1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

#### (1) 盲導犬実働頭数(盲導犬ユーザー数)ならびに貸与者数

##### ①盲導犬貸与数(実働盲導犬数)

	盲導犬実働数(頭)	盲導犬ユーザー数(人)
2016年度 実績	77	81
2015年度 実績	84	88
増減数	-7	-7

※夫婦で1頭の盲導犬を使用するタンデム方式があるため実働数とユーザー数に差異が出る。

##### ②共同訓練

2016年度は10人の視覚障がい者に共同訓練を実施し9頭の盲導犬貸与を行った。

番号	性別	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日	新規/代替
7384	男	滋賀県	オフト	LR	雄	6月8日	代替
7385	男	大阪府	オラフ	LR	雄	6月17日	代替
7386	女	広島県	レジーナ	LR	雌	6月24日	代替
7387	男	京都府	ハノン	LR	雌	7月29日	新規
7388	女	広島県	ニージュ	LR	雌	8月24日	代替
7389	女	鹿児島県	ラファエル	LR	雄	10月15日	代替
7390	女	広島県	トニー	LR	雄	10月22日	代替
7391	男	兵庫県	クレヴァ	LR	雄	11月25日	代替
7392	男	高知県	ルアナ	LR	雌	3月25日	新規
7393	女	京都府	ハノン	LR	雌	3月25日	代替

(※LR: ラブラドル、GR: ゴールデン)

##### ③認定

海外で盲導犬を取得した盲導犬ユーザーの帰国にともない、その犬の認定を行なった。

7A03	女	京都府	イナエ	F1	雌	9月13日	代替
------	---	-----	-----	----	---	-------	----

(※F1: ラブラドル×ゴールデン)

#### (2) 盲導犬ユーザーへのフォローアップ

盲導犬ユーザーが安全で快適な盲導犬歩行ならびに生活が継続できるようフォローアップを実施した。2016年度のフォローアップ実施件数は206件であった。(前年度202件)

- ・定期 57件
- ・ファミリーリゼーション 11件
- ・共同訓練直後 19件
- ・犬の健康管理 43件 (高齢犬の健康診断を含む)
- ・犬の問題行動 20件
- ・その他 13件
- ・鉄道利用における確認 43件 (盲導犬ユーザーの鉄道事故を受けての緊急確認)

### (3) 盲導犬貸与委員会

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与委員会規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、盲導犬貸与委員会を毎月1回開催し、盲導犬貸与申込者の選定ならびに共同訓練の終了・貸与に関する各事項の手続きの確認を行った。

### (4) 犬の育成

#### ①繁殖

2016年度の繁殖状況は次のとおりであった。

- ・当協会で生まれたパピー頭数 53頭（うち34頭をパピーウォーカーに委託）
- ・他協会から譲り受けたパピー頭数 3頭（中部盲導犬協会3頭）
- ・繁殖犬総数 26頭（内訳 オス 13頭／メス 13頭）  
うち新規繁殖犬登録数 2頭
- ・AGBN(アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク)の実務担当者会議（3回開催）に繁殖担当職員を派遣した。
- ・イギリス盲導犬協会ならびにフィンランド盲導犬協会に訪問し、有用な繁殖犬を凍結精液で輸入できることとなった。

#### ②パピー

2016年度のパピーウォーキングの状況は次のとおりであった。

- ・パピーウォーカーに委託したパピー頭数 34頭
- ・定期巡回指導 のべ 309件
- ・パピースクール 32回（のべ322家族）
- ・他協会のパピーボランティア指導を見学（中部盲導犬協会 2016年12月、2017年2月）

#### ③訓練犬（盲導犬候補犬）

4月に竣工した新築の訓練棟（木香テラス）において、訓練犬の生活訓練を重視した飼育方法の構築と衛生管理を徹底した。

#### ④盲導犬のケア

- ・引退が近づいた盲導犬に対し、身体的に健康な状態で引退できるよう健康診断を継続実施した。
- ・盲導犬に対して、フィラリア予防薬の購入費補助を実施した。
- ・貸与後、特定の病気を有する盲導犬に対して療法食の補助を継続実施した。

#### ⑤リタイア犬のケア

2016年度のリタイア犬の状況は次のとおりであった。

- ・リタイア犬頭数 76頭
- ・マッサージセミナー 4回（のべ38組）
- ・リタイア犬の医療等の支出（合計4,181,399円）  
内訳 リタイア犬のフード代等 1,196,759円  
ワクチン等の医療費 2,729,845円  
火葬費 254,795円

#### ⑥その他（フレンドドッグ活動）

4名のボランティアの協力を得て、リタイア犬ならびにキャリアチェンジ犬をとめない高齢者福祉施設等を訪問するフレンドドッグ活動を実施した。（のべ83件）

### (5) 盲導犬訓練士および歩行指導員の養成

#### ①歩行指導員等の資格認定（認定NPO法人全国盲導犬施設連合会 実施）

訓練士1名について、歩行指導員の資格取得を予定したが、資格取得に必要な訓練時間数に到達できていないため認定申請をしなかった。

#### ②下記、研修会等に訓練士、歩行指導員ならびに関係職員を派遣した。

- ・認定NPO法人全国盲導犬施設連合会ジャパンセミナー（2017年2月）

- ・日本補助犬学会（2016年10月）
- ③国際盲導犬連盟主催セミナー（開催国クロアチア）に職員2名を派遣した。

#### （6）その他

- ①パートタイマー1名を訓練関係の正職員として採用した。
- ②ドッグフード・犬具の発送に関する外部委託は、次年度に繰越し、検討課題とした。

### 1-2. 相談事業

#### （1）盲導犬・視覚障がい者に関する問題に対する措置

2016年度に受けた苦情ならびに相談の件数27件、内容は次のとおりであった。

- ・盲導犬ユーザーの盲導犬に対する扱いについて（8件）  
うち6件が当協会の盲導犬ユーザーであったため、状況確認ならびに指導を行い、再発防止に努めた。
- ・バス事業者から盲導犬ユーザーの犬の管理とマナーについて（3件）
- ・一般の人からユーザーの言動について（1件）
- ・パピーウォーカーのマナーについて（1件）
- ・盲導犬ユーザーからの受け入れ拒否等に関する相談（10件）  
飲食店5件、健康施設・住宅公団・宗教施設・カルチャースクール・交通事業者 各1件  
（10件中2件は、受け入れについて説明を行ったが理解を得ることができず未解決）
- ・受け入れ側からの相談（1件）  
健康施設から、ユーザーが来場した際の対応についての照会
- ・そのほかの相談（3件）  
一般の人および事業者から盲導犬の歩行状況等についての相談

### 1-3. 啓発普及事業

#### （1）視覚障がい者に対する啓発普及活動

- ①以下の団体からの要請を受けて、盲導犬の体験歩行を行った。
  - ・高知県身体障害者連合会（2016年9月）
  - ・高槻市視覚障害者福祉協会（2017年3月）
- ②京都府身体障害者 更生相談所が開催する視覚相談会、京都ライトハウスが開催する南部サテライト事業に職員を派遣し、盲導犬に関する情報提供を行った。  
（綾部市、城陽市、南丹市、京田辺市、与謝野町、精華町、長岡京市）
- ③盲導犬ユーザーの安全なホーム歩行のため、主に通勤のため単独で電車乗降をしているユーザーを中心に駅ホーム体験会を行った。（2017年3月）

#### （2）一般市民に対する啓発普及活動

- ①訓練センターの見学
  - ・定例見学会（4月を除く毎月第3日曜日）参加者数409名（前年度 比89名増）
  - ・その他の見学 58団体（前年度 比22団体増）
- ②オープンデー（2016年4月29日）
  - ・参加者 約500名
- ③講演活動（学校・企業・社会奉仕団体等からの依頼）
  - ・学校での講演 140件（うち20件は盲導犬ユーザーが講演）
  - ・イベントならびに社会奉仕団体の例会、企業研修等での講演と実演 66件  
（うち8件は盲導犬ユーザーが講演）

上記のうち6件は、盲導犬ユーザーのホーム転落事故の影響から公共交通機関およびその関連機関での講演であった

④盲導犬ならびに盲導犬ユーザー等に関する情報発信

機関誌「ハーネス通信」の4回発行（墨字・点字・CD・電子データ版）し、盲導犬ユーザーと交通機関を通年のテーマとした特集を毎回掲載した。

(3) 教育機関との連携

京都造形芸術大学と「ハーネスのデザイン」についての共同授業を実施し、ハーネスの試作品を作成した。

(4) その他

①木香テラスの竣工式と内覧会を実施した。（2016年4月）

②木香テラスにおいてハーブ(内田奈織)とフルート(岡本果奈)のコンサートを開催した。  
(2017年1月)

## 2. 管理部門

### (1) 会員

2016年度末の会員数は次のとおりであった。

総会員数 1,352件（2015年度3月末1,309件）

- ・正会員 1,225件（前年度29件増）
- ・青少年会員 13件（前年度5件減）
- ・法人会員 29件（前年度2件増）
- ・後援会員 28件（前年度3件減）
- ・マンスリー会員 57件（前年度20件増）

### (2) 募金箱

2016年度末の募金箱回収状況は次のとおりであった。

- ・2016年度末の設置店舗数 1,960件（2016年3月末2098件、比138件減）
- ・回収金額 12,403,595円（前年度11,410,386円）
- ・新しく木製募金箱を作成し、順次設置した。

### (3) 街頭募金

2016年度末のクイールの会と協会職員による街頭募金を67回実施し、募金金額は5,839,226円（前年度85回実施、9,771,955円）であった。

### (4) 募金自動販売機の設置

2016年度末の設置台数は71台（新規1台、撤去1台）

寄付額総計934,416円（前年度883,171円）であった。

協力企業（関西キリンビバレッジサービスグループ・アサヒ飲料販売・サントリービバレッジサービス・他5社）

## 3. 施設整備計画

①訓練棟（木香テラス）に関する備品としてイス30脚を購入した。（161,676円）

②旧犬舎の改築は、建物周辺エリアを含めた活用を検討することで、次年度に繰り越し、検討課題とした。

#### 4. その他

##### (1) 職員について

		正職員数	パートタイマー	資格取得年数
管理部門	管理・事務職	4	2	
	普及啓発	2		
訓練部門	盲導犬歩行指導員	5		1999年1名、2002年2名 2014年1名、2016年1名 ※上記5名は盲導犬訓練士の有資格者
	盲導犬訓練士	2	1	2011年1名、2012年1名 2009年1名(パートタイマー)
	パピー担当者	1		
	繁殖担当者	1		
	犬舎管理担当者	1		
計		16	3	

##### (2) 訓練士等のキャリアアップの状況

訓練犬の訓練頭数ならびに視覚障がい者の歩行指導回数等、日本盲人社会福祉施設協議会の自立支援部会盲導犬委員会ならびに認定NPO法人全国盲導犬施設連合会の策定した基準に則り、訓練士ならびに歩行指導員を養成。その他に、国際盲導犬連盟、アジアブリーディングネットワーク、視覚障害リハビリテーション協会等の主催するセミナーや会合などに積極的に参加して、訓練技術や視覚障害に関する知識のキャリアアップを実施。

##### (3) 訓練について

犬のステージ	期間(犬年齢)	訓練のステージ	担当職員	内容
子犬	生後60日～1歳	パピーウォーキング	パピー担当	パピーウォーカー(子犬飼養ボランティア)宅での基本的な躰や生活
訓練犬	1歳～約2歳	候補犬の訓練	訓練士 歩行指導員 犬舎管理担当者	直線歩行・障害物回避・段差発見・公共交通機関の利用・ステイ(待つこと)・生活訓練(食餌・排泄等)
	約2歳	共同訓練(2週間～4週間)	歩行指導員	視覚障がい者と訓練犬との歩行訓練ならびに生活訓練
盲導犬	2歳～10歳	フォローアップ	歩行指導員	盲導犬ユーザーが安全な歩行かつ快適な生活を継続するために、盲導犬貸与後年1回以上のフォローアップを実施

##### (4) 施設について

###### ①施設の場所

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2 (5,715.71m<sup>2</sup>)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-3 (2,486m<sup>2</sup>)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-4 (393m<sup>2</sup>)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷24-2 (105.98m<sup>2</sup>)

③建物

a. 訓練センター棟(鉄筋コンクリート2階建て) 826m<sup>2</sup>

事務所・厨房・食堂・ホール・宿泊室(7室)・犬用医務室・犬舎

b. 新犬舎(鉄骨平屋建て) 犬室4室 94.60m<sup>2</sup>

c. ハーネス研修センター(木造2階建て) 宿泊室3室 厨房・食堂 122.84m<sup>2</sup>

d. 訓練棟「木香テラス」(木造 一部2階建て) 549.79m<sup>2</sup>